

農業体験学習（米づくり体験）

本地区では「農業体験学習」の一連の活動として地元小学生を対象に、農業用水の水質調査、二級河川西目川の魚類生息調査、親水公園の清掃、農業用水を利用した小水力発電所を見学し、自然エネルギーと地球温暖化についても学習している。そして、米づくり体験は毎年継続して実施している。

米づくり体験は小学校5年生が主体となって、播種・田植え・生育観察・稲刈り・自然乾燥の各工程を実体験を通じた学習活動をしている。

田植え・稲刈り・自然乾燥は昔ながらの手作業で、小学生の他、幼稚園、一般関係者が一緒に活動をしている。又、田植えは一部機械移植をし、機械には小学生を乗せ作業を体験させている。

更に、刈り取った稲を、小学生、幼稚園児が運搬し、棒杭による自然乾燥をしている。

体験学習田は西目小学校の近くの県道沿線に位置し、学習田はパイプラインかんがいで、農道は舗装されており、作業環境も良く、楽しみながら作業を進めている。又、作業時には子供の保護者も多く集まり、作業にも参加している。

自分達の作業で収穫した貴重な自然乾燥米は学校での試食と、給食用に活用している他、西目出身の東京ふるさと会で試食用として利用している。

東京の試食会用に使用している袋には作業中の子供の写真を貼り、体験学習により収穫したふる里の米であることを表示しており、好評で米の消費拡大の役割を果たしている。

又、この体験学習により農業に対する関心と環境に対する関心も深まってきているので今後も継続したい。



活動体制	
実施主体	西目環境保全活動の会
後援・連携	水土里ネット西目（西目土地改良区）、J A 秋田しんせい西目地区、由利本荘市役所西目総合支所、稲作研究会、A S T 農場、西目小学校、西目幼稚園、年長児保護者、西目地区老人クラブ、西目地区町内会、はまなす会ゆうゆう
実施期間	4月15日（播種）、5月20日（田植え見学）、6月24日（稲の生育観察）、9月24日（稲刈り）
参加者	播種58名、田植え69名、稲の生育観察53名、稲刈り118名
報道関連	なし
活動実施年数	5年目（H22年～）
連絡先	〒018-0604 由利本荘市西目町沼田字西潟356-3 西目土地改良区 TEL. 0184-33-4666
その他	さなえ賞（H23）

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット西目（三浦 昭夫）

○活動の目標及び達成率	目標	地域農業に対し関心を深める			
	達成率	100%			
○活動に対する評価	屋外での活動であり天候に左右されるため小学校の授業時間の調整等、難しい面もあるが、「農業が基幹産業である」ということに対する関心と環境保全にも関心が深まってきた。又、継続して実施することにより地域農業の発展に寄与できると考えております。				
判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			②運動の発展・拡大	A	事業実施前に充分打合せして実施している。
①役職員・組合員の参加	A	役職員、組合員以外の非農家参加もある。	③運動の計画性	A	体験学習前に水の大切さについて話している。
②後継者育成の工夫	A	この運動に理解ができています。	4. 運動の成果		
2. 活動の意義性について			a. 組織活性化	B	組織の活性化までは至っていない。
①基本理念の設定	A	農業への関心を深めることに主眼をおいて取り組んでいる。	b. 地域農業	B	先導的な組織とはいえない。
②地域の歴史等の伝承	B	地域資源等を生かした活動はあるものの水土里ネットの理解は不足している。	c. 地域コミュニティー	A	大いに貢献している。
③運動の先駆性	A	体験学習は作業の節目に行っている。	d. 地域資源管理	B	学校とは密接に関わっている。
3. 運動の継続性・発展性			5. 今後の課題等について		
①運動の継続性	A	計画の中で実施している。	・天候により日程が左右されることもあるが、この活動が体型的なカリキュラムにより学習の一課程となれば更に効果がでくると思われる。又、後継者の育成にもつながると思う。		

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他